

つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）7月1日（火）

発信元：つくば市 市民部 芸術文化推進課

☒取材依頼
 ☒周知依頼
 ☐募集告知
 ☐その他

見て、体験して、学べる “科学 ×アート” つくばメディアアートフェスティバル2025を 開催します

「つくばメディアアートフェスティバル」は、「科学のまちつくば」の特色を生かした、つくばならではの文化の発信を目指して2014年度にスタートしました。

7回目の開催を迎える今回は、メディアアートの分野で世界でもトップクラスの実績を誇る筑波大学の「工学・芸術連携リサーチグループ」の協力のもと、筑波大学が輩出する国際的アーティストや学内公募により選ばれた学生たちによる、分野を超えたテクノロジーと芸術が融合した作品の数々を展示します。最先端の研究の成果や新しい発想の数々を、見て、体験して、学べる、科学×アートの魅力が感じられるイベントです。詳細は別紙をご覧ください。



【日時】 令和7年8月1日（金）～8月11日（月・祝）9:30～17:00
（最終日は13:00閉館、入場は閉館の30分前まで、休館日8月4日（月））

【場所】 茨城県つくば美術館（吾妻2-8） 入場無料

【ホームページ】 <https://www.tsukuba-artchannel.jp/page/page000181.html>

【取材方法】 7月31日（木）15:00～17:00にプレオープンを行います。取材をご希望の際は、7月30日（水）12:00までに問合せ先まで御連絡ください。また、会期中の取材は期間中の取材希望日前日（平日のみ）12:00までに御連絡ください。



つくばメディアアートフェスティバル 2025

見て、体験して、学べる “科学 × アート”



「つくばメディアアートフェスティバル」は、「科学のまちつくば」の特色を生かした、つくばならではの文化の発信を目指して 2014 年度にスタートし、今回で 7 回目の開催となります。メディアアートの分野で世界でもトップクラスの実績を誇る筑波大学の「工学・芸術連携リサーチグループ」の協力のもと、筑波大学が輩出する国際的アーティストや学内公募により選ばれた学生たちによる、分野を超えたテクノロジーと芸術が融合した作品の数々を展示します。最先端の研究の成果や新しい発想の数々を、見て、体験して、学べる、科学×アートの魅力を感じてみませんか。

ぜひこの機会にお誘い合わせの上、ご来場ください。

◆開催概要

タイトル：つくばメディアアートフェスティバル 2025

会期：2025 年 8 月 1 日（金）～8 月 11 日（月・祝） 休館日：8 月 4 日（月）

会場：茨城県つくば美術館（茨城県つくば市吾妻 2-8 TEL：029-856-3711）

開館時間：9:30～17:00（最終日は 13:00 閉館、入場は閉館の 30 分前まで） 入場無料

ウェブサイト：<https://www.tsukuba-artchannel.jp/page/page000181.html>

主催：つくば市 共催：筑波大学工学・芸術連携リサーチグループ

協力：大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構(KEK)

助成：令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

後援：茨城県、つくば市教育委員会、公益財団法人つくば文化振興財団

お問い合わせ：つくば市芸術文化推進課 TEL：029-883-1111（代表）

出展作家：クワクボリョウタ、片岡純也+岩竹理恵

芦沢優介、阿曾寛己、稲垣望美、稲田和巳、猪瀬陽、内山俊朗、江崎聖桜、王尾仁思、岡村美紀、勝部里菜、川口一画、澤田亮、島袋朱里、清水紘輔、鈴木健嗣、善甫啓一、露口啓太、西宮知世、長谷川泰斗、長谷川美紀、裴洙我、ボボ、前田凜子、村上貴人、守新太郎、山岡一樹、山下采夏、山名琢翔、山根千幸、渡辺ミリ

監修：岩田洋夫（武蔵野大学、筑波大学名誉教授）、内山俊朗（筑波大学）、村上史明（筑波大学）

アクセス：

つくばエクスプレス(TX)：「秋葉原」駅より快速 45 分、終点「つくば」駅下車、A2 出口から徒歩 3 分。
JR 常磐線+バス：「土浦」駅または「ひたち野うしく」駅下車、バス「つくばセンター」「筑波大学中央」行き、「つくばセンター」下車、徒歩 3 分。お車：常磐自動車道「桜土浦」インター、あるいは圏央道「つくば中央」または「つくば牛久」インターからつくば方面へ。指定駐車場[南 2]または[北 2]に駐車の上、駐車券を受付にお持ちください。(1 時間の割引処理をいたします)

※身体障害者専用駐車場があります。詳しくは美術館までお問い合わせください。

※文化会館アルス向かいの法人職員駐車場には駐停車できません。

◆みどころ

片岡純也+岩竹理恵×高エネルギー加速器研究機構(KEK)

つくばサイエンスハッカソン 2025



つくば市が主体となり、アーティストと科学者のコラボレーションにより新たなメディアアート作品を制作するプロジェクトです。今回は気鋭のアートユニット片岡純也+岩竹理恵と高エネルギー加速器研究機構(KEK)が協働します。2 人が KEK に約 1 ヶ月間滞在し、研究者たちとの様々な対話からインスピレーションを受けて生み出した作品を展示します。

[参考画像] 片岡純也+岩竹理恵「MOT アニュアル 2020 透明な力たち」展示風景

撮影：木奥恵三

本作の展示は 8 月 10 日（日）までとなります。また、大阪・関西万博「エンタングル・モーメントー[量子・海・宇宙]×芸術」(8 月 14 日-20 日、主催：内閣府)に出典します。

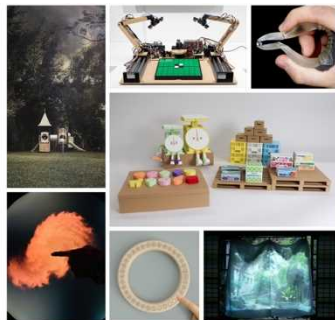
光と影のアーティスト クワクポリョウタの体験型作品



国内外の美術館や芸術祭で活躍するアーティストのクワクポリョウタが《以心分身》(2019 年)のつくば美術館バージョンを展示します。日常と少し異なる影や形に出会えるかも？ぜひご体験ください。

[参考画像] クワクポリョウタ《以心分身》2019 年 撮影：山口 伊生人

筑波大学出身・在籍する若手クリエイターの作品 20 組が集結



学内公募によって選出された、多彩な領域で活動する 20 組の若手クリエイター達の作品を一挙に展示します。今年は過去最大規模の出展数となります。また、メディアアート制作にトライする学生の習作展「メディアアートの卵展」も実施します。メディアアートという表現を拡張する新しいアイデアの数々をお楽しみいただけます。

やってみよう！アートプログラミング



筑波大学発のベンチャー「Griteen」と筑波大学アートデザインプロデュース(ADP)チームが企画するワークショップを開催します。テーマは「夏祭り」。初めての方も楽しく参加でき、つくったものが展覧会を彩ります。

日時：8 月 3 日（日）13:00-16:00（最終入場 15:30）

場所：茨城県つくば美術館 2F 講座室

対象：5 歳以上 所要時間：最大 60 分

料金：無料 事前申込不要

※参加希望の方は、当日講座室に直接お越しください。定員に達し次第、受付を終了します。

※5 歳～小学校低学年の方がご参加の際は、必ず保護者の付き添いをお願いいたします。

【本イベントのプレス問合せ先】

つくば市芸術文化推進課 文化振興係 ctz032@city.tsukuba.lg.jp 電話：029-883-1111 内線 6265

内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。